



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2016/9/30にご同意いただいた方

【研究課題名】 抗NMDA受容体抗体測定による、精神症状を伴う自己免疫性脳炎の診断の有用性

【研究責任者】 神林 崇（秋田大学大学院 医学系研究科医学専攻 病態制御医学系精神科学講座）

【本研究の目的及び意義】

近年、精神病様症状で発症し、その後不随意運動やけいれんなど様々な神経症状を呈する、抗NMDA受容体脳炎と呼ばれる疾患の存在が知られるようになってきている。軽症では精神症状のみが現れ、十分な治療が行われていないことも考えられる。脳脊髄液中の抗NMDA受容体抗体を測定することで、脳脊髄液検査による診断法を確立することを目的とする。

【本研究に提供している試料・情報】

髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)